

【第4回津志田保育園三者懇談会】

- ◆ 日 時 平成19年6月30日（土） 17時～
- ◆ 場 所 津志田保育園
- ◆ 出席者 津志田保育園保護者6名
- ◆ 内容等

市⇒ 市役所

津⇒ 津志田保育園

保⇒ 保護者

川⇒ 川目保育園

市 8分ほど超過したが、始めさせていただく。懇談会なのでさっくばらんにお話を伺いたい。第4回三者懇談会を始めさせていただきたい。アンケートをとったので、集計をまとめたのでお話しする。

\*\*\*アンケートについて説明を行う。\*\*\*

市 アンケートを頂いたのは6割。集計した結果はこのような通りだ。ざっくばらんにご話をいただきたい。今のアンケート結果等について何かあるか。

保 このアンケートの趣旨というのは。

市 趣旨というと。

保 このアンケートをとって何かをするということか。

市 今保護者の方がどのように感じているのか、一番知りたい。

保 このアンケートの結果について市で対応するということはあるか。

市 今まで十数回説明会を開催したけれど、津志田保育園の保育を継承してほしいとか給食は変わらないということが説明会では何度も話をしたが、NEWSの中で具体的に示していきたいと思う。

保 具体的にはNEWSということか。

市 今のところは、このアンケートの結果を踏まえて、示していく。

保 この間の三者懇談会ではいろいろ出たが、その回答はいただけないのか。

市 この間問題になったのは、臨時保育士をコロコロ変えないでほしいという点と工事に対しての不安についてだったと思う。

工事については、こういう工事を行うということを保護者、職員にお知らせしている。私自身も土曜日に保育所に来て、児童の安全が確保されているか確認した。工事については、今後も具体的な形で、前もってお知らせしていく。

臨時保育士を変えないでほしいということについては、できるだけ保護者の方の意向に沿うように、移管先法人と市とで話し合っている。具体的には、まだお話できないが、

現在、津志田保育園で働いている臨時保育士が、引き続き移管先法人で雇用していただけるように検討している。

保 市の今の臨時保育士の対応（任用）の仕方が悪い。1年間変えないで雇用してほしいということだった。

市 保育士も含めて、1年を超えて任用できないのは、地方公務員法という法律なので全国一律。盛岡市で1年を超えて任用できないけれど、移管先法人で引き続き働いていたかどうか検討しているところだ。

保 （1年間任用した後、雇用を）3カ月空けるというのは、変えないということか。

市 そうだ。3カ月空ける方もいるし、こちらの雇用が切れた後、移管先法人で引き続き雇用していただけるようお願いしている方もいるということだ。10月以降の体制についても時期が来たら、保護者の方にお話しする。

保 検討してはいるけど、無理だということだ。

市 無理な方もいるし、無理でない方もいる。

保 微妙だ。

市 先ほども言ったけれど、1年を超えて任用できないのは、盛岡だけでなく全ての地方公共団体で一緒だ。保育士だけでなく、1年を超えた場合に何カ月空けるかについては、それぞれの市町村の考え方だ。1年を雇用したとき3カ月空けるのは、民営化するしなにかかわらず、市のルールだ。アンケートの結果にも現れているので、市でもできることもあるし、移管先法人をお願いしているところもある。

保 保護者的には不安だ。具体的な話ができないというのは検討段階ということか。

川 人事を早く出しすぎると壊れることもあるし、そのことによって職員間の不協和音を招くかもしれない。できるだけ保護者の要望を受け入れるよう検討している。3カ月も4カ月前から公表するという点についてはご容赦願いたい。あまり結論を早く出しすぎると壊れるものもある。

保 10月以降の話で、6・7・8・9月は臨時保育士を変えていくということか。1年間の満期になれば変わっていくのか。

川 市に要望していることもあるし、あまり公にすると、人事については、ここで確約とか公表できない。

市 しかるべき時期が来たときには、保護者の方にお話したい。今は、その時期ではない。

保 臨時保育士は、6月から変わるということでもいいのか。

市 今言えるのは、6月いっぱい任期の方は切れるということ。今日は6月30日だから。その他の方については、今の段階ではお話できないけれど、保護者からの要望を取り入れるよう検討している最中だ。

保 円滑に引継ぎをするために何をしているのか。

市 国の保育所保育指針や盛岡市の場合は、盛岡市公立保育所の計画というものがあり大まかに決められている。それに基づいて保育を行っているが、それが津志田保育園では、

個々具体的にどのように動いているかについて、保育士がまとめている。

また、こちらで円滑に移管するため、保護者の方の不安がどの辺にあるのか、移管後の保育所運営をどのようにしていくか、について知るためにアンケートを行っている。

その他、保育相談を行っているところだ。具体的に保育相談は今のところない。保育相談がある場合は、園長、主任、担当保育士と保育相談員が相談して答えることになっている。その内容が保育所に知られたくない場合は、直接保育相談員が答えることになっている。

保 実際、引継ぎにあたっての保育相談員ということではないのか。

市 そういうわけではない。4月以降、津志田保育園には16～7回訪問している。4月には、児童と保育士の関係がうまく言っているか、職員同士でコミュニケーションがうまくいっているかなどについてみてきた。6月には、引継保育の意図や進め方について、市で考えているところがうまく伝わっていないところがあったようなので、保育所に来て保育士に進むべき方向性について直接話してきている。

保 4月から中核市になって、重要な役割を持っていると思うが、非常勤職員が保育所をみんな見るということか。

市 来年の4月から、盛岡市が中核市になることに伴い、今は県で保育所の指導監査を行っているが、市内の33の私立保育所へ行って、適正に運営されているかを児童福祉法等に照らしてみても、改善していただくものは改善していただく。

今年は、7月から県と一緒に市の職員が保育所へ訪問して、来年度からの準備を行うこととしている。

保育相談員は、専門性を活かして、保育の内容等を見ていただくかなと思っている。一般の事務方は、法人や施設の経理関係をみていくこととなる。

市 私立保育所33園を毎年指導監査しなければならない。さらに認可外保育所も30近くあるし、乳児院などの児童福祉施設も見なければならない。全て1人で見ることはできない。ちなみに岩手県では、4～5人の体制で行っている。市でもそれに近い形で見ることになる。

保 今、現在津志田保育園に1人で来て見ているということか。

市 事務方でも岩手県の指導監査に同行して、来年度のための研修を行う。平成20年度に事務が来て困らないようにするためだ。

保 津志田保育園は、どの程度重視しているのか。保育相談員が1人で県に同行してみに行くのか。

私はしばらく来ているが、会ったことがない。非常勤職員なのでいつ来ているかわからない。会われている方も少ない。投書箱を作成して、相談票アンケートをとったが、保護者で会われている方が少ない。対応的に引き継ぎ保育を行っているところをどのように見ているのか。

市 誤解していただきたいのは、保育相談員については、加配という形だ。もともと

考えていなかったが、よりパーフェクトな引継を行いたいということなので、有効に活用していただきたい。

保 アンケートの中の意見で同じことがあったが、私も津志田保育園の保育内容が変わるのではないのかに○をつけた。何時にそれをすればいいのかということではなくて。それは、引継ぎをすれば同じようにできることだ。私は、昨年から子どもを預けたが、最初はそこまでしてくれるのかと驚いた。すごく細やかに報告してくれた。預けても保育士が細かいところまで見てくれて、母親の先輩としての様々なアドバイスをしてくれて、そういう安定感を心強く思っていた。変わったときに安心感が続くのか不安だ。職員の方が一生懸命やってくれるが、気持ち的な部分だ。もう少し日々の迎えにいったときに、話しかけてくださると保護者も子どもの様子がわかって。そうしていただくことに安心感が生まれるから。来年以降もそのように続けていただければ。

川 大変もったいなことだ。今3人の保育士を派遣しているが、そこが足りないということか。

保 今までの津志田保育園の職員の心構え、姿勢をそのまま続けていただければ。

川 そこが足りないということか。

保 最初は顔を合わせても、なかなかお話する機会がなかった。今はあるけれど。

川 そうか。

川 やはり私も最初緊張していて。

保 雰囲気慣れるまで時間がかかって。

川 大変申し訳ありません。しっかり対応していないということであれば、園長として謝る。

保 特に不満ということではなくて。あまり遠慮しないで、日々見ていて、アドバイスをいただけたら助かる。

川 保護者の方にすれば、民営化になるということで、様々な不安があると思う。それをできるだけ取り除いていくということが、私の役目だと思う。津志田保育園の保育を変えないでほしいというのは、いろいろな場面で出てくるし、このアンケートにもある。津志田保育園の保育といわれても、抽象的だ。何と何と何を具体的に変えてほしくないのか、というものを教えていただければ。保育は、公立でも私立でも保育指針にあるものを基本に年間指導計画を作成し、月案を作成し、週案を作成し、日案を作成し、実践している。それを保護者の方も検討されて、津志田保育園の保育内容はこういうものなのだ、それを踏襲してほしい。それがあれば私たちは非常に進めやすい。

それがなかなか見えない。先ず一つは、声をかけてくださいということと、子どもの様子を教えてほしいというのはあった。それは、具体的に出てきたので、守っていきたいと思う。保護者から具体的に出していただけたら、民間になっても保護者の意向に沿う形で行っていくことができる。津志田保育園の保育内容はこれなのだという文書があれば助かる。それがなければ保育所保育指針を基本に行うこととなる。

保育所保育指針は、今改定中だが、指針から告示になるので、今よりもはるかに拘束力のあるものになる。それを取り入れる場合は、保育内容も変わらざるを得なくなる。そのときは保護者と相談しながら進めていきたい。津志田保育園の保育の何を変えなければ良いのか。

民間保育所の良さを活かしてほしいとなれば、保育内容を変えることとなる。お互いに矛盾の出ることについても、保護者の方と相談して決めていくこととなる。

民間保育所になるとお金が掛かるということがあるが、何のお金が掛かるのか。保育園に入りたい場合は、市役所へ申し込まなければならない。

保育料については、市役所が、前年度の所得によって決めることになる。保護者会費は、保育所が関知することではない。川目保育園では一切保護者から負担をいただいている。

休日保育の保育料は、1日2千円いただいている。一時保育の保育料は、1時間500円で、8時間で2千円いただいている。その他延長保育も所得に応じて、市で決めた金額をいただいている。それ以外に保育所の財政を援助してもらうためのお金はいただいている。民間になっても変わらない。民間になると高くなると勘違いをされている方がいるが。

保育所は、子どものためにある。法人の理念としては、子どもと保護者とそこで働く保育士の三者が幸せになることだ。子どもが生き生きとしない保育所はいらない。

今の保育の内容が変わって、もうけ主義に走って、時間を少しでも過ぎるとお金をとるといような、卑しいことはしていない。社会福祉法人は、営利企業ではない。

保護者の協力がなければ、保育所の運営ができない。私立保育所は特にそうだと思う。ぜひ様々なことを要望していただいて、私どもで、それに応えていきたいと思う。

運営主体が川目保育園になると職員は、本人が辞めない限りずっといる。職員の入れ替えもなくなる。平成20年度は職員の入れ替わりがあるので戸惑うかもしれないが。

子どもが一番ストレスを感じるの、いつだったと思うか。私が見ていると、一番最初に保育所に子どもが入るときだ。入園したときだ。そのため、慣らし保育を1年間しているか。せいぜい1週間だ。今の論法でいけば、慣らし保育を1年間しなければならない。そういう形で考えていけば、1年前から3人の保育士、半年前からはさらに3人保育士を派遣していく。慣らし保育ということで考えれば、最初は戸惑うことがあるかもしれないが、子どもは、ものすごく順応性がある。

様々懸念はあるかと思うが、お互いにどうしたら津志田保育園を良い保育所にしていくか。

良い保育というのは、子どもを伸ばしてやる保育というのが、良い保育だ。甘やかすとか、何でも保育士がしてあげることではない。ある保育所は、とても保育士が親切すぎて、ご飯を食べるときに、2歳になっても子どもは口を開けているだけだ。そこに保育士がご飯を入れてあげただけだ。親切な保育かも知れないが、子どもが育っていない。

子どもを育ててやるというのはプロの保育士の仕事だ。子守りではなく。プロの保育士を養成し、子供たちを健全に育成したいというのが私たちの願いだ。何ら津志田保育園の理念と変わるところがない。民間になっても安心してください。

保 民間保育所との違いが必ずあると思う。こちらでは民間保育所の違いについて資料を作成しているが、それがよいかどうかを模索中だ。保育所保育指針があるから、一定であるといわれているが。民間保育であれば、運動着があつたりパジャマがあつたり、土曜日の給食がなかったり。保育所に納めなくても（負担金を）掛かることがある。

内容的には、今の話どおり、子どもが一番大事だ。

引継保育が1年間あるのであれば、津志田保育園の良いところを見てほしい。（津志田保育園の良いところ大事にしてほしいところについて）文章を出してほしいというのであれば、文章は出せるけど。

せっかく1年間の引継保育があるのなら、先生たちの良いところ悪いところをみてほしい。間違いなく園々で違う。そちらでも模索していただいて。文章に出してほしいというのは、間違いなくそういうことはあるのだけれど。子どもへの接し方、親への接し方を学んでほしい。私立保育所で違いがあるのを気づいてほしい。よく見てほしい。アンケート結果もみられてお話したかと思うが、アンケートの結果で良いところは抜粋して出してほしい。そちらの保育所でどうこうしてほしいというのは、今はまだ、津志田保育園の運営になっているので（できないと思うけれど）。

保 同じ意見だ。私はここしか知らないの。他の保育所の良いところも取り入れて行ってほしい。川目保育園でこういう保育をしているということも話してほしかった。毎回毎回出席できないので、どういう形で進んでいるのか分からないが。今日は先生たちが集まって意見もこれから聞くのか。

川 川目保育園でいいものだと思っても、津志田保育園の保護者に受け入れられるかどうか分からない。とにかく今の津志田保育園の保育内容を学んでいるところだ。

保 確かにそうかもしれないが、津志田保育園を楽しみにしている。参考にいろいろ聞いてみたい。

保 お互いの分からないところとか、みえないところとか、私たちに求めるのではなくて、児童福祉課でもっと間に入って、資料を準備できるのではないか。私たちは、月1回だけしか集まれないけれど、お互いの園長と児童福祉課では、何回か会議みたいなものを行っているのだ。

より良く引き継いでもらうためには、次の年度に行くためには、そういうことがあってもいいと思う。私たちにこれはどうだと聞いて、それに応えることも必要かも知れないが。お互いが勉強していくことも必要だ。懇談会に参加していて、親の立場としては、「あれ？」ということもある。そういう「あれ？」を1個ずつ解いてもらうのは、お互いの園長であり、保育士なはずだ。

保育相談員を設けたようだが、保育相談員と保育相談の内容について書けといわれて

も、私達にこの忙しいところ書けといわれても。お互いがもう少し寄って、より良い保育所にしていきたいのは、みんなの願いだ。

親が一生懸命アンケートをとった、懇談会にはこれしか出ていないけれども。こういう意見を述べようとしても、資料には目を通しては来るけれど、親たちに求めるのではなくて、もっとみんなで歩み寄って、より良い保育所にしていくということなので、活発に意見を出し合っていかなければならないと思う。

そういうところをどうやっていくか、を市にもう少し考えてほしい。

保 引継保育の相談員の方はどういう感じを受けているのか。

保 保育相談員の役割が見えない。今回はそれを解消したい。

市 何点か整理したい。今は、引継保育の期間中なので、市としては移管先法人に津志田保育園の保育内容を継承することとしている。移管先法人からああしたい、こうしたいという話が出ない。子どもに影響が少ないのは、保育内容を変えないこと、できるだけ保育士を変えないことということで、市が決めている。何点か出た部分については、今はできない。

移管後には、基本的に津志田保育園の保育内容を継承することとしているが、保護者の了解を得て変えることは可能だ。津志田保育園の保育がベストかどうか分からないが、保護者の方の了解を得て、変えてもいいというような条件を出している。この辺は皆さんにご理解をお願いしたい。

保護者の方とのコミュニケーションで足りない部分は、市及び保育所に責任がある。

保護者の方と保育士が、コミュニケーションをうまく図れるように、何か行事を計画するとか考えていきたい。保育士をどのように紹介したのか、はっきり分からないが、保護者と保育士がうまくコミュニケーションが図れる仕組みを考えたい。

ただし、これは民営化することに限らず、人事異動があれば同じことが起きうることである。

社会福祉法人に引き継ぐために、津志田保育園で大事にしていること、伝えたいことをまとめていただいている。きちんと市から移管先法人へ伝わるようにする。

保護者の方とコミュニケーションが取れない原因として、クラスの置かれている状況として、発達支援が必要なお子さんが多かったり、川目保育園に比較すると津志田保育園のほうが職員の配置基準が低いことなどがあるのではないかと思う。例えば、3歳児では、公立では児童 20 人に対して保育士 1 人の割合で配置しているが、川目保育園では 15 人に 1 人、公立では、4歳以上児について、児童 30 人に対し保育士 1 人の割合で配置しているが、川目保育園は児童 20 人に保育士 1 人配置していることから手厚い保育士の配置となっている。そういうこともあって、おかれている状況などを考慮しながら、市の責任なので、保育所と相談してバックアップしていかなければならない。

保育相談員のお話だが、前回も話をしたが、保育相談員がずっと保育所にいてお話を聞ければよいが、一旦紙で書いていただいで、お互いに良いときに面談などを行い、津

志田保育園の保育内容についての相談なので、担任、主任保育士、園長などとも相談してお答えすることになる。

保 昨年から参加させていただいている。先ほど園長さんがお話しいただいた「子どもを生き生きと伸ばしてあげなければだめだ」ということに共感している。今回、川目保育園から来られた方にはがんばっていただいている。津志田保育園の保護者が、こういう状況だということをお聞きして来て途中で、がんばっていただいている。

子どもが第一だというのはその通りなので、あまりプレッシャーとか不安とか感じないで進められるようであればよりよいのではないかな。

お客さんの要望に対応できなければ、しつた激励しなければならない。ただ保育士がストレスのない中で働いていただけるよう、園長や市が配慮していただければより良いと思う。

これから引継ぎを進めていくにあたって、津志田保育園や川目保育園の保育士から何かあればお話を聞きたい。

市 私立保育所の比較をされているようだけれど、その通りの部分もある。給食にしる、保護者負担金にしる、私立保育所の考え方があって、それを保護者に理解してもらって進めている。公立保育所は均質なサービスを提供している。

ただし、今回に関しては、何度も言うけれど、移管先法人に対して市で条件を付けているので、給食については今の津志田保育園と変わらないし、新たな保護者負担金を取らないこととなる。アンケートをとった結果を見ると、よく理解していただけていない部分もあるので、もう少し具体的に書いて理解していただくようにしたい。保護者の不安を様々書いていただけていますが、それを移管前までに限りなくなくなるよう市では保護者の方に説明をしていきたい。

保 保育所から参加しているので、何か話したいことはないのか。何か一言でもいいので。

津 皆さんから率直な話を聞いて、目を開かせられるというか、そういう視点が必要だったのかと感じている。日常の仕事を日常どおりに行うことに努めている。さらにそのうえに引継ぎがあるが、引継ぎだ、引継ぎだということで、力を入れて仕事をするのではなく、通常のことを通常通りに一つ一つ確認しながら、仕事を進めている。

津志田保育園の保育の仕方について文書に残すという作業を行っているが、自分の中で確かめつつ、他の保育所から来ていただいている方との意見交換をしている最中だ。山登りに例えると、何合目かに登っている途中ということになる。形のあるものを作り上げる段階ではない。今しばらく見守っていただければ。保護者の方が、津志田保育園におっしゃりたいことがあれば、日々いつでも耳を傾ける姿勢をとっているつもりだ。進んで伺いたいというように思っている。

津 先ほど保護者の方から、きめ細やかな伝達に欠けるということもあったということで非常に反省している。川目保育園から3名の保育士も津志田保育園の職員の一員ということで、4月から一つのチームとして保育を行っているつもりだ。

例えば、正職員だけでなく臨時職員などや、様々な時間帯の職員がいたり、伝えなければならない情報や伝達事項が伝わっていなかったことがあったかも知れない。

一番私たちが心がけているのは、お子さんの情報を保護者の方に伝えて、それによって保護者の方の信頼を得られる。良いキャッチボールができる。津志田だけでなく他の保育所でも行っていることだが。

引き継ぐために、今行っている保育を文章にしているところだ。作業をしながら感じているのは、一つの作業の裏に細やかな配慮があるのだ。

通常保育は、保育を行っているのでマニュアル作りは、研修で行っている。

中にはきめ細やかな声かけがわずらわしいと感じる方もいる。ただそれは、保育士とのコミュニケーションができていない時期に、一生懸命声をかけられて、時期的なものも含めて、徐々にコミュニケーションができてきたときに、様々な声かけや子育ての情報の伝達を心がけている。

津 私は5歳児を担当していて、持ち上がりで3年目だ。

津志田保育園の良さは、子どもと保護者の心に寄り添う保育。保護者と子どもの心を全て受け止めて、一緒に子どもを育てていく、共に育ちあいましょうというところが、どこの保育所でもそうだと思うが、特に強いと思う。

いろんな相談ができる、子育ての悩みとか母親としての悩みとかに対応できるのが、25年間保育士をやってよかったと思う。

今5歳児を持っていて、これから大きな行事があるけれど、4、3歳の行事のリーダーとして、5歳児が引っ張っていかなければならない。

移管先法人からきた保育士と連絡をきちんと行い、子どもや保護者が不安にならないようにして、スムーズにいけるように心がけたいと思っている。

私自身、引継保育については初めてなので、とまどう点もあるし、迷う点もあった。とても複雑な思いで保育を行っているが、それを表に出すことによって、保護者と子どもに不安がいつってしまうので、それを絶対出すべきではないし、出さないように心がけている。

来年の4月に向けて、きちんと安心して津志田保育園に通えるように5歳児の担任として努力していきたい。

いろんな連絡が、主任保育士からあったが、同じ公立保育所であれば、あうんの呼吸でできたが、そういうのに慣れていたので、そういうことを確認しなかったところにも責任があるかなと思っている。職員に対する連絡、保護者に対する連絡を確認して、スムーズになるよう心がけている。

行事とか日々の保育を通して、川目保育園の先生に対して、きっと失礼なことを話しているかもしれないし、何気ないことで傷つけていることもあるかもしれないが、気持ちよく働けるようにしていきたい。これからもよろしくお願いします。

津 今日オブザーバーという立場で参加させていただいているので、マイクが回ってくる

とは思わなかった。

一切三者懇談会とか、説明会の頃から、私たちに入って聞いてもいいということがなかったの、保育だけをしていれば良いという立場だった。

実際引継保育をしていくのは、私たちだ。やっぱりそういう雰囲気もかいてみたい。保護者の方がどのように考えているのか。その気持ちも伺いたいということで、オブザーバーでいいので、参加させてくださいということ申し入れて、参加している。

本当は、説明会の辺りから参加したかった。もし、このままずっと参加することができなければ、現場では、きちんとやっているのに、雰囲気をとらえられなくて、さよならするのはさびしいなと思っていた。今回は良い機会を与えていただいた。

津志田保育園に来て2年目なので、ようやく慣れたという形だ。私たちは、転勤して歩くので保育所に赴任して何カ月か経って、その雰囲気になじんで、自分のものにしていくことを二十何年も繰り返し行い、片手で足りないくらいの異動の経験がある。引継保育とはいっても、一緒に保育をしていく仲間だと考えている。私たちのとらえ方は、一緒に保育をしながら、なじんでいってほしいなと感じている。

このアンケートを見て残念だと思うのは、保護者の方で、引継保育ということが頭にあるので、そこから見ていくと信頼関係がないのではないかと、子どもが不安になっているのではないかと、というふうに見えているのではないかと、残念だと感じている。

私たちは転勤があるから、私が昨年来たときも、子どもが新しい保育士が慣れなくて不安に感じていたのか、あるいは、引継保育ということで、そのように感じているのか。私たちは、去年も今年も変わりなく保育を行っているつもりだ。

やはりそのように子どもが不安に思っている、職員間の信頼関係がどうなのかなと感じられたのか、私たちは変わりなく保育を行っているつもりだが、そのように感じられているのは残念だと思っている。

先ほど主任から話をしたが、来年度までにきちんと、私たちが今までしてきた保育の引き継ぐものを、デイリー（プログラム）として、児童の動き、私達の動き、私たちが日々こういうことに配慮して保育をしているというものを、日々行ってきたものを大事にしてきたことをマニュアルにしている。

良かったと思うのは、自分の保育をもう一度見直すということができて、勉強になっている。今までなかなかそういう機会がなかった。これを来年にきちんとつなげていきたい。

来年移動する際、自分が担任をしてきた子どもたちに、私が育てた以上のものを与えてほしい。

保 私は保育所に子どもを預けて1年3カ月で3人の保育士が変わった。そのたびに子どもが非常に不安になる。4月の時点で6人の保育士がいるから大丈夫ということではなく、臨時保育士についても、引き続き臨時保育士を置いていただければ。市長とかにもお願いしたけれど。臨時保育士を1人でも多く採用してほしい。以前、公立保育所の臨

時保育士は、だめだと言っていたけれど。

川 私たちに採用になれば、臨時保育士でも1日8時間勤務だ。また臨時保育士でも、正規保育士と同じように仕事をしていただく。例えば今、津志田保育園の臨時保育士は1日6時間とか、1日おきの勤務でしているようだが、フルタイムで働けるのかということと、平成20年になると担任を持たなければならないので、担任をもてるのか、そういうことを見極めながら、良い人がいれば、私たちの採用基準に合うものであれば、できるだけ採用していく。

早番の方とか遅番の方とかいう形をお願いすることもあるかも知れない。できるだけ保護者の方の要望に沿えるよう前向きに検討していきたい。

市の方から条件がいろいろあって、平成20年度に移管する際に、5年以上の経験者が3分の1以上という条件があるし、臨時保育士はできるだけ少なくということもある。

公立よりも私立のほうが、給料が低い。そういうこともあるので、本当に来てくれるかどうか分からない。様々打診しながら、理事長とも相談しながら、できるだけ保護者の要望に応えるよう検討していきたい。

市 いずれ時期がきたら、川目保育園と市と相談しているので、早めに保護者の方にお知らせしたい。

川 3月31日までの人事は、津志田保育園の園長の采配でいくわけなので、私どもは意見を申し上げるだけだ。

市 臨時保育士の任用については、保護者から意見をいただいている。川目保育園は1年ずつの任用だが、市では1年を超えて任用できないし、何度も引き続き任用できる。市では1日6時間勤務とか週3日勤務とかだが、川目保育園では1日8時間の勤務となっていたり。臨時保育士であっても、民間保育所では年間指導計画や月案、週案などを作成しているが、公立保育所では、そのようになっていない。

今後は、市の施策として検討していきたいと思う。

川 津志田保育園 NEWS だが、5月中旬だったが、子どもの顔と名前がやっと一致してきたと書かれ、がく然とした。私は4月の1週間前から来ていて、1週間で顔を覚えたのにそう書かれたことにとっても悲しい。書くことを人にゆだねるのはすごく難しいと感じた。大事に書いていただければ。

津志田保育園の良さ、保育内容を継承してほしいということだが、1年間どのように分かっていけるのかを考えている。私立でも保育内容はベースがきちっとしたものがある。公立保育所では、盛岡市の一定の基準を、その中でも津志田保育園の保育内容を引き継ぐのは難しいなと感じている。

何かの機会に、保護者の方に入っていけるような形で、津志田の良さを受け止めたらよいのかと思っている。

4月の初め頃は、保護者が目の前を素通りして、安心する保育士に子どもを預けるといっても、気持ちも身にしみて分かっている。そこで、副担当の保育士を中心にお願

いしてフォローして周りを見るという形をとったのではないか。

5月中旬頃にもう少し積極的に話してもいいのでは、とアドバイスをした。これから変わると思うので見守ってください。今後も何かあったら、教えてください。

川 先ほどお父さんからありがたい言葉をいただいた。良い保育所は、どのような保育所かという、施設がきれいとかではなく、子どもの周りには大人が幸せでなければ、子どもに幸せがやっけてこない。津志田保育園に来て、様々な保育士と出会って、学ぶことがたくさんあって、自分も学んでいきたいと思うし、私自身保育を楽しんで、この仕事がいいなと感じられるよう思う。

川 保護者から話していただいたことも常に心に置いて、これからは力を出していきたいのでよろしく願いいたします。

保 津志田保育園 NEWSは、毎月いつ出すと決まっているのか。

市 不定期だ。

保 工事の内容を早く出していただかないと不安だ。

アンケートは、将来のことを考えてとっているようだが、津志田保育園の親のことを考えてアンケートをとってほしい。

保 市がアンケートをとったのは良いことだと思うけど、将来も大事だと思うが、保護者が、今どのように感じているのかをつかむようなアンケートをとってほしかった。親がどう感じているのか肌で感じてほしい。来年以降の保護者が不安にならないよう、どのように思っているかお互いつかんでいかなければ、実のある懇談会にならないのでは。良く話し合っていくことが大事だ。

市 引継ぎに関する事項、移管後の保育に関する事項を設けた。引継保育期間及び移管後不安なこと心配なことを聞いている。引継保育に関する設問では自由記述で書いていただいている。その中で保護者の方に様々記入していただいている。この中では、市で解決できるものもあるし、内部の職員の関係もあるので、NEWS等で答えられるものがある。

臨時保育士の任用について不安を感じているのが分かったが、できることとできないことがあるが、将来に向かって検討していかなければならないと思う。

保 関係のない設問がある。0歳児保育を実施すべきかどうかとか。

保 将来のことはともかく、今（保護者の気持ち）がどうなのかということ市がつかんでいないということだ。市がどのくらいつかんでいるかどうか保護者にわからない。

保 結論的にはそうだ。踏み入れて考えてほしい。

保 市の動きが見えていないのが不満だ。保護者が民営化したくてしているというわけではない。

保 市の動きが見えていない。私たちが民営化をして良いということで進めているわけではない。市が出ていないのではないかと保護者の中に思っている方がいる。

保 臨時保育士がしょっちゅう変わるということについて、文章に明記して、いついつ誰が変わりますよ、児童福祉課が雇用してこうしましたよと示してほしい。

保 津志田保育園のためにやっているということはあるのか。

市 全て行っています。

市 津志田保育園も市の施設だ。園長も主任保育士も保育士も市の職員だ。市というのは児童福祉課ととらえていらっしゃるようだけど。

保 管轄と現場では考えが違う。

市 それはちょっと、問題だと思う。

津 どう感じていられたかはわからないが、ここの保育の現場と市が別の意志を持って動いているということはない。持っている役割が違うということだ。必要なことは、逐次意見を交換し、確認して動いているつもりだ。けっして、園は園だけで動いているということはない。

市 これで閉じたいが、何か話したいことがあれば。

市 臨時保育士が急に辞めるとかについて、保護者がそれを知らないということを前にも話されていたので、保育所と相談して、事前にお知らせしていくなど、改善していけるのだと思う。

アンケートについては、実績を作るために聞いているわけではない。

設問にも書いてあるとおり、引継保育と移管後の保育に関する事項を聞きたいということだ。引継保育と移管後の保育で不安なこと心配なことについて聞くようになっていく。

移管後が変わらないということについて、具体的に説明していきたい。

説明会も十数回行い、保護者の方が変わっても同じような質問にお答えしてきたつもりだが、また民営化に関する Q&A も保護者に配って、理解が得られているのかなと思っていたが、アンケート結果を見ると、もう少し分かりやすく具体的に説明する必要があるのかなと考えている。

民営化に関して、きちんと設問の趣旨を説明しているが、その趣旨について十分理解していただけなかったと思っている。

市 なければ閉じさせていただく。

保 NEWS は、今回は、いつ頃出す予定か。

市 アンケートの結果が出ているので、その不安を解消する取組みなど、現在保育所で取り組んでいるデイリープログラム（マニュアル）を作成していることなどについて載せたいと思っている。

市 今回は、お盆過ぎてからを考えている。また、時間については、土曜日の今の時間が良いかどうか、この出席率を見ると、違う時間を考えなければならないかも知れないが、保護者の方から率直に意見を聞きたい。

保 8月はないのか。

市 お盆明けすぐにするかどうか。

保 9月は運動会があるので。

保 NEWSをどんどん出すとか、アンケートをとるとかしたほうがよいのでは。

保 次回の工事は、いつ頃か。

市 子どもさんの外での活動が落ち着いた辺りで考えている。下水道工事は、冬でも行えるので。

保 できるだけ早めに知らせてほしい。

市 それでは閉じさせていただく。